



龍應山西明寺の由来は寺伝によると、平安時代の初期に当たる承和元年(834年)のある日、三修上人(慈勝上人)が、琵琶湖の西岸を歩いていると、突如として琵琶湖の東方の彼方より、紫雲が現れまぶしい光が射しました。この雲や光を見た上人は「この光の源をたずねれば、きっとすばらしい霊地があり、修行中の私に何か悟らしめて、重大な使命が下されるに違いない」との靈感に打たれました。そしてその光明を目指して湖東の山中に分け入ると、一筋の光明を放つ池があったのです。上人は「このような有難いまぶしいご光明を放たれるのには、何か事情があるのでしょうか。この清浄な霊地から沸き出づる泉を通しての光明は、何を暗示しているのでしょうか。どうかご教示願いたい」と池に向かって一心に祈念なされました。やがて、不思議な事に薬師如来の尊像が現れ、その後に日光菩薩、月光菩薩、続いて十二神将が現れました。三修上人に帰依していた仁明天皇は、この不思議な出来事を聞くと、この地に勅願寺として、お寺を造るように命じられました。薬師如来が放った光が、仁明天皇がいらっしゃった京都の宮中に向かって、西方を明るく照らした事で、「西明寺」と名付けられました。また、西明寺の山号の由来は、西明寺のある場所が琵琶湖を中心として、東に位置していることから、東西南北の四方を護る天の四神(東…青龍、西…白虎、南…朱雀、北…玄武)の内の青龍が護り、人々の願いに応じる寺院故に「龍應山」と名付けられました。その後、西明寺は「国家鎮護と五穀豊穰、病氣平癒」等を祈願する祈願道場として、また僧侶を育成する修行道場として、寺領二千石と山林数町歩が与えられ、十七の諸堂と僧坊三百を有する大伽藍となりました。また、琵琶湖の西岸の延暦寺が勢力を伸ばし始めた頃に天台宗になり、延暦寺の中心道場である根本中堂のご本尊の薬師如来が、琵琶湖を向いて安置されているので、薬師如来どうしが対面する様に西明寺のご本尊が延暦寺の方向に向いて安置されました。爾来、西明寺の薬師如来は湖東の薬師如来と呼ばれる様になりました。源頼朝が来寺して戦勝祈願されたと伝えられています。

戦国時代に織田信長は比叡山を焼き打ちしてその直後に当時も焼き打ちをしましたが、幸に国宝一号指定の本堂、三重塔、二天門が火難を免れ現在しています。

江戸時代天海大僧正、公海大僧正の尽力により、望月越中守友閑が復興し現在に至っています。



0001_三重塔



0002_三重塔



0003_三重塔



0004_三重塔



0005_三重塔



0006_三重塔



0007_三重塔



0008_三重塔



0009_三重塔



0010_三重塔



0011_三重塔



0012_三重塔



0013_三重塔



0014_三重塔



0015_三重塔



0016_三重塔



0017_三重塔



0018_三重塔



0019_三重塔



0020_三重塔



0021_三重塔



0022_三重塔



0023_三重塔



0024_三重塔



0025_三重塔



0026_三重塔



0027_三重塔



0028_三重塔



0029_三重塔



0030_三重塔



0031_三重塔



0032_二天門



0033_二天門



0034_二天門



0035_二天門



0036_二天門



0037_二天門



0038_二天門



0039_二天門



0040_二天門



0041_二天門



0042_二天門



0043_二天門



0044_二天門



0045_二天門



0046_二天門



0047_二天門



0048_二天門



0049_二天門



0050_二天門



0051_二天門



0052_二天門



0053_二天門



0054_二天門



0055_二天門



0056_二天門



0057_周辺



0058_周辺



0059_周辺



0060_周辺



0061_周辺



0062_夫婦杉



0063_夫婦杉



0064_本堂



0065_本堂



0066_本堂



0067_本堂



0068_本堂



0069_本堂



0070_本堂



0071_本堂



0072_本堂



0073_本堂



0074_本堂



0075_本堂



0076_本堂



0077_本堂



0078_本堂



0079_本堂



0080_本堂



0081_本堂



0082_本堂



0083_本堂



0084_本堂



0085_本堂



0086_本堂



0087_本堂



0088_本堂



0089_本堂



0090_本堂



0091_本堂



0092_本堂



0093_本堂



0094_本堂



0095_本堂へ続く道



0096_本堂へ続く道



0097_本堂へ続く道



0098_本堂へ続く道



0099_本堂へ続く道



0100_本堂へ続く道



0101_蓬菜庭



0102_蓬菜庭



0103_蓬菜庭



0104_蓬菜庭



0105_蓬菜庭



0106_蓬菜庭



0107_蓬菜庭



0108_蓬菜庭



0109_蓬菜庭



0110_蓬菜庭



0111_蓬菜庭



0112_蓬菜庭



0113_蓬菜庭



0114_蓬菜庭



0115_蓬菜庭



0116_蓬菜庭



0117_蓬菜庭



0118_蓬菜庭



0119_蓬菜庭



0120_蓬菜庭



0121_蓬菜庭



0122_蓬菜庭



0123_西明寺本坊入口



0124_西明寺本坊入口



0125_西明寺本坊入口



0126_龍神社



0127_龍神社